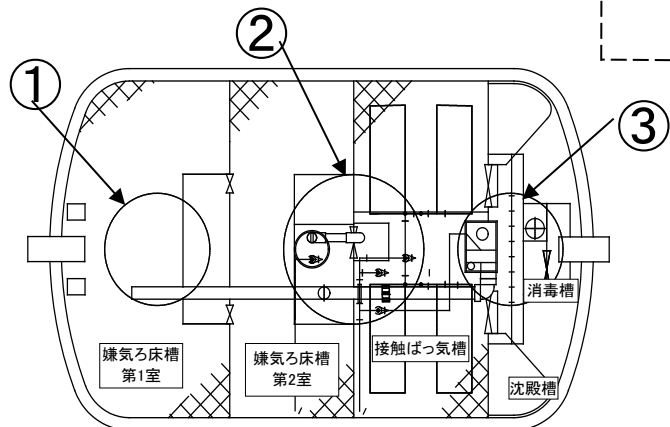
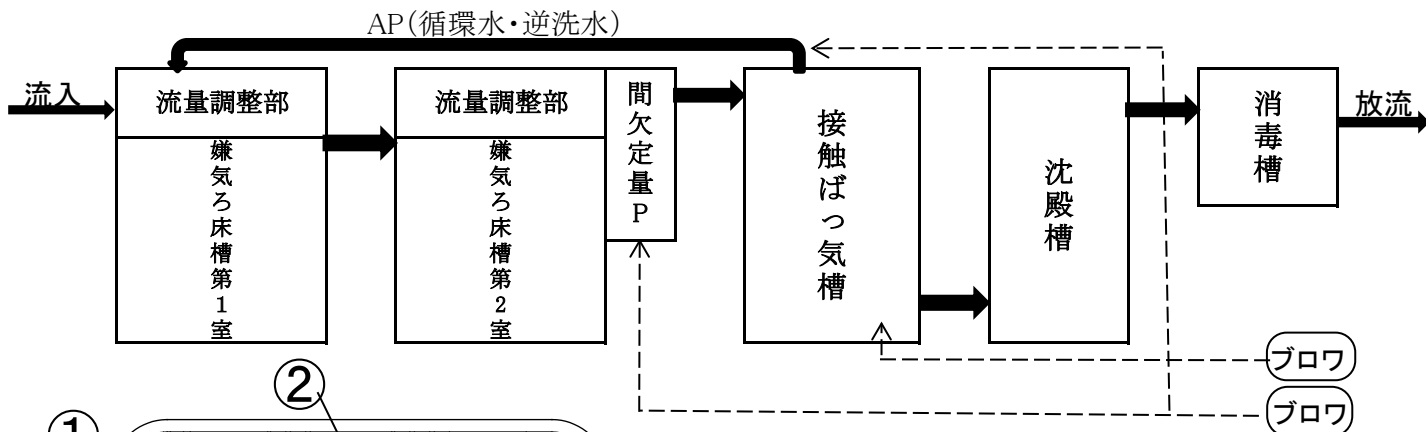


NA 大栄産業(株)
 OEM: SGR 積水アクアシステム(株)
 共同開発: なし
 処理方式: 流量調整型嫌気ろ床接触ばっ気循環方式
 5・7・10人槽

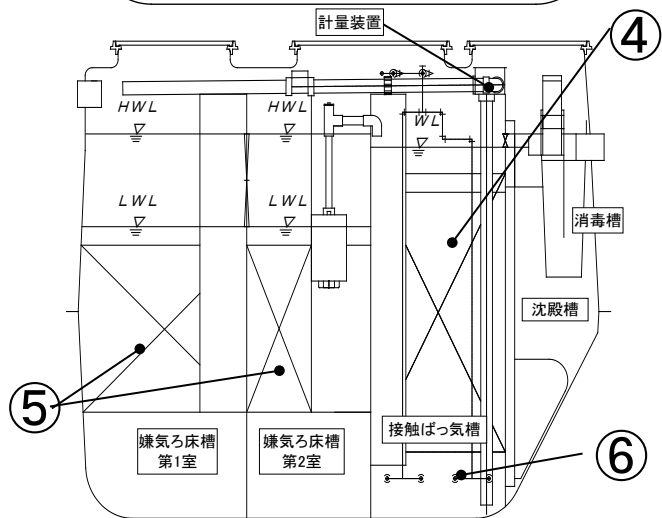
窒素除去型

全浄協登録値

BOD	SS	T-N
20mg/L以下	—	20mg/L以下
性能評定または性能評価値		
BOD	SS	T-N
20mg/L以下	15mg/L以下	20mg/L以下



- ①嫌気ろ床槽第1室
- ②嫌気ろ床槽第2室
- ③接触ばっ気槽
- ④接触材
- ⑤嫌気ろ床槽第1、2室ろ材
- ⑥散気管兼逆洗管



有効容量 (m ³)		5人槽	7人槽	10人槽	
槽名	嫌気ろ床槽第1室(L. W. L)	0.906	1.039	1.620	
	嫌気ろ床槽第2室(L. W. L)	0.746	0.704	1.105	
	〈流量調整部〉		0.507	0.646	0.953
	接触ばっ気槽	1.024	1.404	2.005	
	沈殿槽	0.404	0.471	0.704	
	消毒槽			0.026	
合計		3.613	4.290	6.413	

槽底部からろ材受け面までの距離(mm)	第1室	400
	第2室	

流量調整装置	流量調整バルブ目盛(%)			循環装置	循環バルブ目盛(%)			逆洗バルブ目盛	散気バルブ目盛
	5人	7人	10人		5人	7人	10人		
有	40	50	90	有	70~90			開	開

人槽	ブロウ風量 (ℓ/分)	逆洗風量 (ℓ/分)	間欠定量移送用ブロウ(ℓ/分)	逆洗時間 (分)	逆洗時刻	逆洗回数 (回)	逆洗周期
5	80	80	40	5分	2:00	1	1日
7	100	100					
10	120	120					

[人槽に対する流量調整 移送水量・循環水量の設定範囲]

人槽	5	7	10
流量調整 移送水量(ℓ/分)	2.8~3.5	3.9~4.9	5.6~6.9
流量調整 吐出回数(回/分)	2	3	5
循環水量(ℓ/分)	2.1~2.8	2.9~3.9	5.6~6.9

特 徴

嫌気ろ床槽 嫌気ろ床槽第1室、第2室ともに下向流で、両室に骨格様球状ろ材(φ150mm)が充填されている。流入汚水の時間変動による水量不可を調整する間欠定量移送装置が設置され、処理機能向上を図る。ろ材に付着した嫌気性及び通性嫌気性微生物の働きにより、有機物の分解によるBODの低減及び汚泥の減量化を図る。

接触ばっ気槽 ヘチマ様球状接触材(φ150mm)が充填されて、ブロウ吹出し口2系統から4本の散気管(逆洗管兼用)によって全面がばっ気され、BOD除去と硝化反応が進行する。また、接触材の閉塞を防止するためにタイマー制御にて散気風量が一時的に増加して余剰汚泥を剥離させ、それを含む槽内水は循環水と同一配管を経て嫌気ろ床槽第1室に移送される。槽内水の一部は沈殿槽底部に設置された取水口よりエアリフトポンプにて揚水され、嫌気ろ床槽第1室へと循環される。

沈殿槽 接触ばっ気槽移流水の沈殿作用を速やかに行うことができ、沈殿汚泥の全量を接触ばっ気槽に移送できる構造になっている。また、越流せきはボルト締構造となっているので、水流の微調整が可能である。

作 業 時 の ポ イ ン ト

保守点検

①間欠定量移送装置の移送量は、1分あたりの吐出回数と1回あたりの吐出水量を計測し、確認してください。(上表参照)

必要に応じてバルブの調整や、装置の洗浄を実施してください。

②循環移送水量を実測して確認してください。(上表参照)調整はバルブや調整ゲートで行ってください。

③接触ばっ気槽のばっ気状態、気泡の均一な上昇を確認してください。生物膜の肥厚、SSの増加等が確認された場合は、ブロウの手動ボタンを押して手動逆洗を行うとともに、逆洗時間、回数の変更を検討してください。

④ブロウのタイマー設定(現在時刻、開始時刻、終了時刻)を必ず確認してください。

清掃

①清掃前に沈殿槽のスカム・汚泥は、嫌気ろ床槽第1室に移送してください。

②嫌気ろ床槽第1室の汚泥・スカム等は、全量引き抜いてください。第2室は適正量としてください。

③その他の単位装置は、必要に応じて実施してください。